

社團法人中華民國扶輪米山會

獎學金設置辦法



台灣米山會獎學金募款專刊

主旨：社團法人中華民國扶輪米山會獎學金設置辦法(仮称 台灣米山會)

說明：2006.12. 中華民國扶輪米山會會員大會提案通過

2008.08.02行政會議-第四屆第六次理監事會議第一次修正通過

2009.02.28行政會議-第四屆第七次理監事會議第二次修正通過

細則：

第一條 財團法人中華民國扶輪米山會(以下簡稱本會)為獎勵優秀日本學生來台申請就學，並促進台日友好關係，特訂定本辦法。

第二條 本辦法所稱日本學生，係指未具中華民國僑生身分，且設籍居住日本之日本籍學生。

第三條 本獎學金所需預算，由本會負責編列。

第四條 獎學金內容與給付：

- (一)獎學金：每名每月新台幣二萬五千元整，於本會月例會中頒發。
- (二)日本與台灣來回機票之年票費用(限定經濟艙)檢附憑據於第一次本會月例會時一併頒發。
- (三)在台期間之平安健康保險費用。
- (四)期間為一年。

第五條 申請人須同時具備下列獎勵條件：

- (一)申請時年齡30歲以下(滿)之具有日本國家公認大學畢業學歷者。
- (二)須於六月底前取得台灣之大學入學許可。
- (三)需具有日常生活溝通能力之中文程度及對台灣文化具有高度興趣者。

申請方式：

郵寄報名：日本米山紀念獎學金(地址：〒105-0011東京都港区芝公園2-6-15黑龍芝公園ビル3F)

電話：03-3434-8681 傳真：03-3578-8281)

報名期限：當年4月30日止(郵戳為憑)

第六條 審核程序：

- (一)本會委請日本扶輪米山紀念獎學金推薦三名。
- (二)再由本會組成審核小組，經審核通過後，擇優核定正取一名，備取二名；公布並通知得獎人；得獎學生須於當年度註冊入學，始得領取本獎學金。
- (三)審核小組委員為五名成員；現任理事長及秘書長為當然委員，並由現任理事長另聘本會現任正式會員三名共同擔任之。

第七條 日本學生若已申領台灣獎學金者，不得重複領取本獎學金。

第八條 符合本辦法獎勵之學生，入學當年度未完成註冊、辦理保留入學資格、休學或轉學離校者，取消其受獎助資格。

第九條 獲取本獎學金者，經查有偽造或不實之情事，或受獎助期間違反本會訂頒受獎守則規定、素行不良、妨害扶輪米山會名譽之言行、14日以上無故失聯及亡故時，本會得撤銷其得獎資格。

第十條 本辦法經行政會議通過，未盡事宜者，陳請理監事會核定後實施，修正時亦同。

理事長的話

我參加扶輪社，可說是受米山的影響。加入後，發現扶輪的服務、奉獻、職業道德等等的理念很值得推廣。而我個人也一直有「回饋」的意願，所以在2006年12月的中華民國扶輪米山會員大會上，提案由台灣的米山會員們設立台灣扶輪米山獎學金，提供日本年青人來台灣留學，促進兩國友誼交流，回饋日本扶輪米山獎學會。感謝所有台灣米山會學長們的支持，讓提案順利通過。為了讓這個工作能永續，我們先從提供一位留學生一年期留學開始做起，日後視財務狀況再做變更。最令人感謝、值得特別表揚的是在2010年會員大會結束後的聯誼晚餐會上，許邦福前理事長夫人陳延芬女士的美意，答應自己另外提供一個名額，全場拍手叫好。所以從2011年9月開始，我們有了2個名額，表現了米山獎學生們的飲水思源的想法。在此我也要藉這個機會向所有學長們表達謝意，並希望學長們除了自己以外，也能讓外界多了解我們的事業，支持台灣米山會的事業，讓我們的事業能蓬勃發展。就像台北的東海扶輪社和台中的文心扶輪社支持我們一樣。我們在此也要一併感謝兩個扶輪社的扶輪先進。今年兩位獎學生是就讀台灣大學的工藤夕奈小姐和就讀高雄師範大學的加藤有花小姐。

理事長 許國文



台灣米山獎學生としての1年間



獎學生 笹川優子

私は台湾米山獎學生の第2期生として2010年9月から2011年8月まで奨学金を支給していただきました。2009年、大学時代の中国語を担当している教授から偶然にも「日本人若手研究者対象台湾米山学友会奨学金制度」の事を教えていただいた時、「なんと素晴らしい制度が設けられたのだろう」と興奮しました。しかし、奨学金申請時私はすでに国立台湾師範大学大学院の修士課程において就学しており、新入生ではありませんでした。そのような条件であるにも関わらず、みなさんに選んでいただき感謝の気持ちでいっぱいです。そこで、この1年間台湾米山獎學生として自分なりに感じたことを述べていただきます。

奨学金を1年いただけるということで、長い留学生活における経済的負担が軽減され、学業に更に安心して打ち込めるようになりました。学業方面で優良な成績を残すこともまた皆さんへの感謝のしるしと考え、この1年間学業、研究方面に今まで以上に力を注ぎ、自分なりに満足のいく結果を得ることができました。

私が台湾へ来てすでに4年目ということもあり、生活面での問題はとくにありませんでしたが、台湾の経済、文化など知らないことはまだ山ほどあります。台湾の現状を多方面から理解するために、新しい体験をさせていただけたのは台湾米山獎学会の皆様、また貴協会を通じて知り合った多くの方々と交流できたおかげです。

この1年間であらゆる分野でご活躍されている方々と知りあう機会があり、最初の半年間は会議や大会、活動に参加するなどめまぐるしく時間が過ぎていきました。特に印象に残っているのは、2010年12月の年度大会でロータリー米山記念奨学会の板橋敏雄理事長にお会いし、台湾での留学生活の近況をご報告できたことや、2011年1月には許邦福前理事長から娘さんの結婚式にご招待していただきました。また台湾法務部矯正署呂興輝さんに桃園の刑務所施設を案内していただいたのは本当に貴重な体験で、とてもいい勉強になりました。

その他、台湾で留学生活を送っている私にロータリーの皆さんが過去の日本留学時の生活の嫌いやその経験を台湾でどう生かしているかなど日々努力を話して下さいます。これら先輩方の貴重な経験談は今後私が将来進むべき方向へのアドバイスにもなっています。

私は本当に多くの心優しい台湾の方々のおかげで、留学という大きな夢を実現できています。親元を離れ1人海外で生活するのは簡単なことではありません。しかし、日々充実した日々を送れているのは困った時にはいつでも手を差し伸べてくれ、常に気にかけてくれるみなさんの温かいご支援があったからだと思います。台湾米山会の方々「私達はあなたの台湾の家族です」とよくおっしゃって下さいました。そして電話で「学校のほうはどうですか？お愛わりありませんか？」と私の学校生活を米山学友会奨学金制度も皆さん日本での留学時代に「ロータリー米山記念奨学金」にお世話になった恩返しに気持ちから始まったものです。このような制度は今後台湾にお世話になった恩返しに気持ちから始まったものです。このような制度は今後台湾に留学を夢見ている日本人学生に希望を与え、海外に羽ばたく機会も更に増えることと思います。そ

してまた日本人学生もこうした心強い援助を得て、台湾と日本の更なる発展に貢献していくことでしょう。

台湾で体験したロータリーの方々との交流、またみなさんの志、精神に触れ、台湾と日本は強い絆で結ばれていると肌身に感じました。皆さんの努力でその絆はこれからも変わらずますます強くなるでしょう。私も皆さんの努力に触発され、将来何らかの形で必ず台湾の皆さんに恩返しをしたいと思います。そして私自身これからも何事にも一生懸命取り組んでいきたいと思ひます。皆さん1年間本当にありがとうございました。

~~ 米山獎學金需要大家實際行動的支持 ~~

雖然順利迎接第三年度獎學生但我們仍需要未雨綢繆，

提早儲蓄兩年後的獎學生基金，

因此台灣米山會獎學金仍需要大家持續的捐款。

~~ 捐款不在於多少，而在於心意 ~~

捐款以NT\$1,200為一口單位，

只要每個月留下一杯咖啡的錢就能支持台灣米山會獎學金！

※11月21日前捐款者將刊登名單於第15期米山會訊，留下歷史的漣漪。(刷卡單如附件)

張義明陶藝創作品義賣

米山OB旅日陶藝家張義明2011年初回台北參加當代藝術館「蝴蝶·笑映」，展出期間得知米山會有此回饋行動立即答應捐出3件參展作品提供2011/12/17大會當天義賣共襄盛舉！起標價：5500~7000元起/件

